

最初にお読み下さい

---

# リリースノート

## CentreNET™ AT-TCP/32 Ver. 2.0

---

文書番号 : *attcpv200.relnote ver 1.0 pl 1 Mar.1997*

この度はCentreNET AT-TCP/32 Ver 2.0 をお買い上げいただきましてありがとうございました。この冊子は、インストール方法について説明されています。

インストールする前に必ずお読みください。

# 記述内容

1. 本製品に添付されている情報について .....	3
2. インストール手順の概要 .....	4
2.1 AT-TCP/32 TCP/IP applications .....	4
2.2 AT-PRINT95 .....	6
3. LANアダプタドライバのインストール .....	8
4. TCP/IP のインストール .....	11
5. TCP/IPの動作確認 .....	19
6. インストールの実行 .....	20
6.1 AT-TCP/32 TCP/IP applications .....	20
新規インストール .....	21
Version Up の場合 .....	29
6.2 AT-PRINT95 のインストール .....	30
7. AT-PRINT95 を使用するための TCP/IP の設定 .....	35
8. CentreNET AT-PRINT95 ご使用上の注意 .....	42
9. アンインストール .....	43
9.1 AT-TCP/32 のアンインストール .....	43
9.2 AT-PRINT95 のアンインストール .....	45
10. 「PGP 国際版 2.6.3i」について .....	48
PGP のバージョン .....	48
PGP の注意事項 .....	48
「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロードについて .....	49
「PGP 国際版 2.6.3i」のインストール .....	49
PGP とは .....	49
暗号化と復合化 .....	49
公開鍵方式 .....	50
公開鍵と秘密鍵の作成 .....	51
ご注意 .....	52
商標について .....	52

## 1. 本製品に添付されている情報について

### CentreNET AT-TCP32グループ「お読みください」

リリースノートやマニュアルに記載されていない補足的な情報や(特定のアプリケーション、パソコン機種における障害の回避の方法)が記述されています。必ずお読みください。

### リリースノート

この冊子です。AT-TCP/32 のインストール方法について書かれています。必ずインストールする前にお読みください。

### User's Manual

AT-TCP/32 ソフトウェアの使い方について説明しています。「AT-TCP/32を始めて使用する」とか「LANの導入は初めて」というような方は是非お読みください。

### インストールについて

Netscape Navigator™ Ver.3.0[ja] for Windows® 95/WindowsNT®  
Netscape Navigator のインストールについて簡素にまとめた冊子です。

### インストールについて

Microsoft® Internet Explorer Ver.3.0 for Windows® 95/  
WindowsNT®  
Internet Explorer のインストールについて簡素にまとめた冊子です。

## 2. インストール手順の概要

### 2.1 AT-TCP/32 TCP/IP applications

AT-TCP/32 のインストールは Windows 95 上からでも Windows NT 上からでも可能です。LAN において、AT-TCP/32 TCP/IP applications をパソコンにインストールし、リモートホスト (UNIXワークステーション) と通信ができるようになるまでの作業の概要は以下の通りです。

また、AT-TCP/32 TCP/IP applications の ATMail に暗号化の機能がありますが、この機能をお使いいただくには暗号プログラム PGP が必要です。PGP の入手方法についての情報は P48 「PGP(Pretty Good Privacy) について」をお読みください。

インストールする前に以下の項目について確認してください。

#### 1. 対応パソコン

NEC PC98 シリーズ  
OADG 仕様パソコン(DOS/V)

#### 2. 対応 OS

Microsoft Windows 95 日本語版 <sup>†1</sup>  
Microsoft Windows NT 3.51 日本語版  
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

#### 3. パソコンの資源

##### メインメモリ

Windows 95	12MB 以上
Windows NT	16MB 以上

##### ハードディスク

15MB 以上 (本体のみ)

#### 4. 情報の収集

これからインストールしようとしているパソコンのホスト名、IP アドレスなどを決定したり、インストールに必要な情報を収集します。お客様がシステムを使用するだけのユーザであるなら、システム管理者に相談してください。お客様がシステム管理者という立場の方なら、他のユーザの相談にのってあげてください。

---

<sup>†1</sup> 英語版には対応していません。

## 5. リモートホストでの設定

(UNIX ワークステーションでの設定)

パソコンからリモートホスト (UNIXワークステーション) を使用する  
ための設定を、リモートホストに施してください。リモートホストの  
設定は、システム管理者に施してもらいます。

### ユーザ名

リモートホストにログインするとき使用する名前です。リモートホ  
ストはユーザ名でお客様 (ユーザ) を識別します。ユーザ名がリモート  
ホストに登録されていない場合、お客様はそのリモートホストを使用  
することができません。BSD 系 UNIX の場合、ユーザ名は /etc/passwd  
ファイルに登録します。

### パスワード

リモートホストを使用するとき (ログインするとき) に必要な合言葉で  
す。リモートホストにおけるお客様のプライバシーを守るためにも、  
必ず設定してください。また、パスワードが設定されていない場合、  
使用できないコマンドもあります (wvtn.exe など)。

### ホームディレクトリ

ホームディレクトリは、リモートホストにおけるお客様の作業環境で  
す。通常は、ディレクトリ /home 下のお客様のユーザ名と同じディレ  
クトリ名を作成します。下記に、例を示します。

/home/emi

### パソコンのホスト名、IP アドレス

AT-TCP/32 をインストールしようとしているパソコンのホスト名、IP  
アドレスを決定し、リモートホストに登録してください。例えば、  
BSD 系 UNIX の場合、これらの情報は /etc/hosts ファイルに登録しま  
す。これが設定されていない場合、AT-TCP/32 アプリケーションの多  
数のコマンドが使用できません。

6. CentreNET AT-TCP/32  
供給メディア (弊社 CD-ROM)  
リリースノート (この冊子)

## 7. TCP/IP の設定

## 2.2 AT-PRINT95

CentreNET AT-PRINT95 は Windows95 上においてプリンタリダイレクト機能を提供するためのソフトウェアです。AT-PRINT95 を使用することにより、LPD サーバー がネットワークに開放しているプリンタを仮想プリンタとして使用することができます。

### 仮想プリンタ

AT-PRINT95 を使用することにより、LPD サーバーが開放しているプリンタを、ローカルプリンタのように使用することができます。

プリンタは、パソコンのプリンタポートに直接接続されているのではなく、ネットワーク上の LPD サーバに接続されているわけですが、パソコンのユーザーにとってプリンタポートに直接接続されているプリンタと全く同様に扱えます。このようなプリンタのことを仮想プリンタといい、それを実現する機能を仮想プリンタ機能といいます。仮想プリンタ機能により、1 台のプリンタを複数のパソコンから利用できるため、プリンタの台数や置き場所を節約することができます。

### その他の特長

- ・他ネットワーククライアントとの共存 (Novell Netware, Microsoft ネットワーククライアント等)
- ・同時に複数の仮想プリンタの使用が可能

インストールする前に以下の項目について確認してください。

- 1 対応パソコン  
NEC PC98 シリーズ  
OADG 仕様パソコン(DOS/V)
- 2 対応 OS  
Microsoft Windows95 日本語版 <sup>†2</sup>
- 3 パソコンの資源  
CPU i486SX 以上  
メインメモリ 8MB 以上 (12MB 以上を推奨)

---

<sup>†2</sup> 英語版への対応はしていません。

WindowsNT, Windows3.1 には対応していません。

Windows95 の推奨メモリ量は 12MBytes です。しかし、通信機能とアプリケーションを使用するには十分なメモリ量が必要となります。メモリが少ないと、パフォーマンスが極端に劣化することがあります。

ハードディスク 1MB 以上

- 4 LAN アダプタドライバのインストール
- 5 Microsoft TCP/IP のインストール
- 6 CentreNET AT-PRINT95 のインストール  
供給メディア 弊社 CD-ROM  
リリースマニュアル(この冊子)
- 7 Microsoft Windows95 CD-ROM または FD  
4 ~ 6 のインストール中に Windows95 インストール時の CD-ROM や FDを要求されることがありますので、あらかじめご用意ください。

4 ~ 6 のインストールについては後述する各節をご覧ください。

### 3. LANアダプタドライバのインストール

まず LAN アダプタドライバからインストールします。アダプタを実装した状態で Windows95 を起動します。

通常はこの時にドライバがインストールされます。ドライバは、Windows95 に同梱されていたり、LAN アダプタ付属のドライバディスクからロードされます。この作業は、Windows95 のガイドに従って行います。

1. 「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をダブルクリックすると「ネットワーク」ダイアログが表示されます。



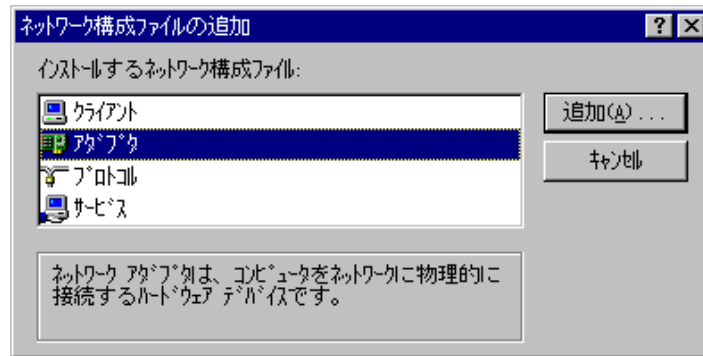
このダイアログの「ネットワークの設定」タブをクリックします。ここでは「現在のネットワーク構成」一覧の上から3番目「ATKK RE2000」(CentreNETのドライバ名)がLANアダプタです。ご使用になっているアダプタが表示されているかを確認します。

表示されていない場合は、LANアダプタドライバはインストールされていません。以下の手順でインストールを行います。

表示されている場合は「4. TCP/IPのインストール」へ進んでください。



2. 「ネットワークの設定」ページの「追加」ボタンをクリックします。  
「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログが表示されます。
3. ダイアログ中の「インストールするネットワーク構成ファイル」一覧から「アダプタ」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



4. 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。「製造元」、「ネットワークアダプタ」を各一覧からそれぞれ選択し、「OK」ボタンをクリックします。

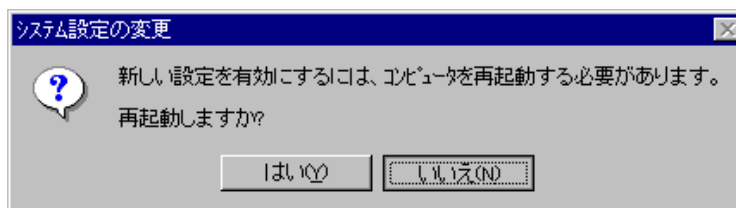


5. 後は Windows95 のガイドに従います。  
全ての設定後に「ネットワーク」ダイアログを終了させるとアダプタが使用する I/O ポートアドレスを設定するダイアログが表示されます。



現在の設定値を選択します。特に変更していなければ工場出荷設定を選択します。工場出荷設定は LAN アダプタのマニュアルをご覧ください。

6. I/O ポートアドレス設定が終了すると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてリブートします。再起動させて、LAN アダプタドライバがインストールされているか確認してください。



## 4. TCP/IP のインストール

Windows95 におけるデフォルトプロトコルスタックは NetBEUI です。Windows95 上で TCP/IP を使用する場合は Windows95 に以下の情報を設定しなければなりません。

- ・ パソコンの IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイの IP アドレス
- ・ DNS サーバーを使用するかどうか、使用するならそのサーバーの IP アドレス

ここでは、Windows95 の TCP/IP の設定方法を説明します。ただし、各マシンの Windows95 の環境によっては必ずしもこの順番通りにならない場合があります。ここでは、Windows95 が既にインストールされていて、Microsoft Network が正常に動作しているコンピュータを前提として説明します。また、設定をしているときに、Windows95 の Disk を求めてくる場合もありますので、その場合は画面の指示に従ってください。また Windows95 のヘルプやマニュアルを参照してください。<sup>†3</sup>

---

†3 以下の文献に詳しい設定手順が記載されています。

1. Windows95 を起動し、「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をダブルクリックすると「ネットワーク」ダイアログが表示されます。

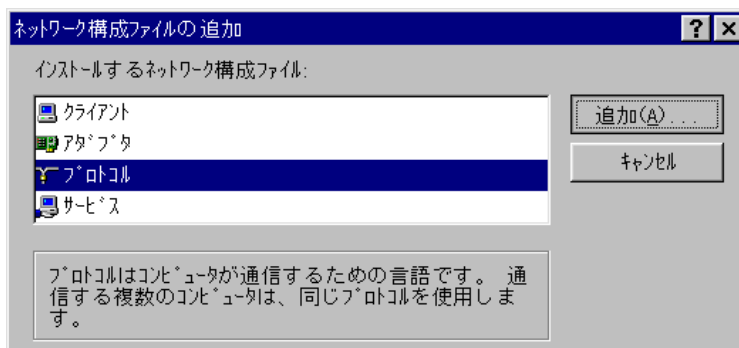


「ネットワークの設定」タブをクリックします。「現在のネットワーク構成」一覧に「TCP/IP」が表示されているか、確認します。表示されていない場合は以下の手順でインストールを行います。

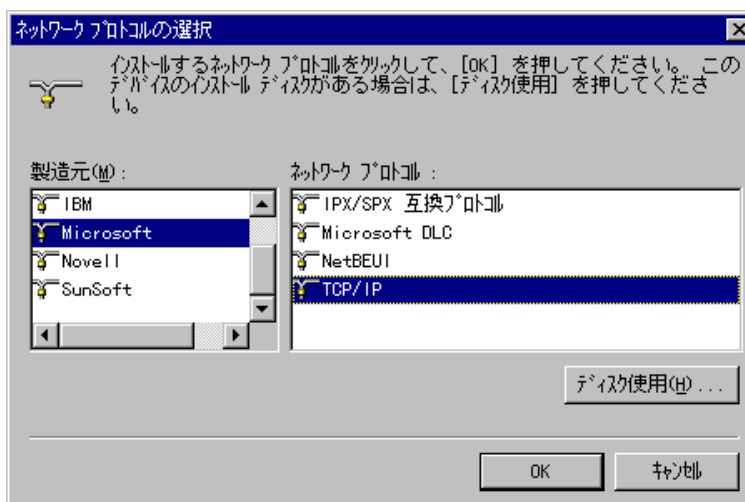
2. 「ネットワークの設定」ページの「追加」ボタンをクリックします。「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログが表示されます。



3. ダイアログ中の「インストールするネットワーク構成ファイル」一覧から「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



4. 「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログが表示されます。「製造元」は Microsoft、「ネットワークプロトコル」は TCP/IP を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



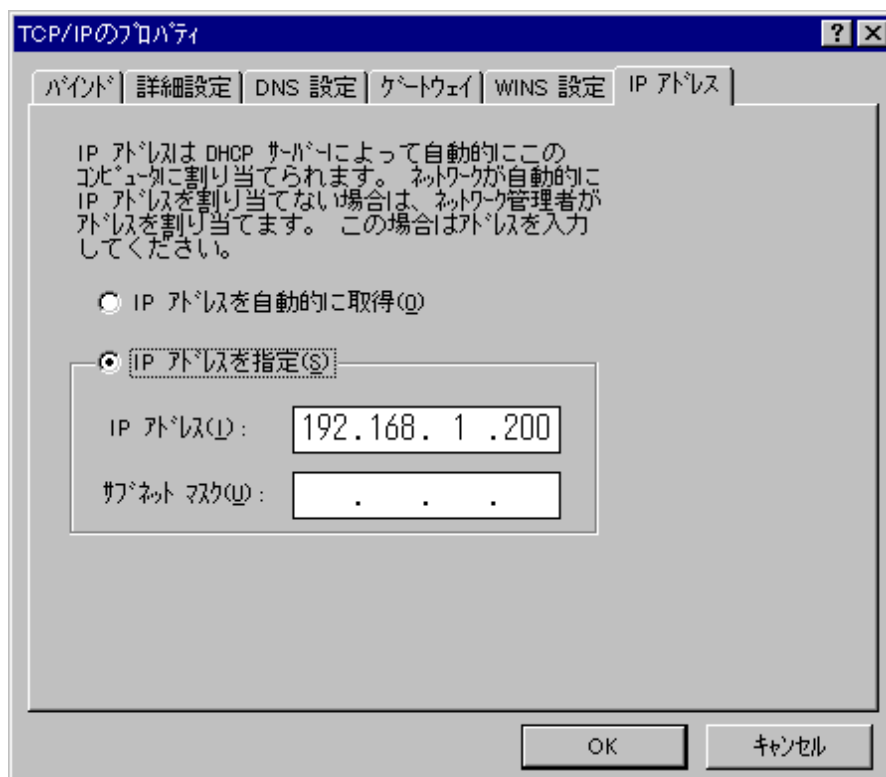
6. 「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「現在のネットワークの構成」の中から「TCP/IP」を選択します。

7. 「TCP/IPのプロパティ」ダイアログが表示されます。ここでは以下の項目について設定します。

#### IP アドレス<sup>†4</sup>の設定

「IP アドレス」タブをクリックします。

ここでは使用するパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。



このパソコンの IP アドレスを自動的に取得するか、自分で指定するか選びます。

自動的に取得するには DHCP サーバがネットワーク上に動作していることが前提になります。

IP アドレスを指定する場合はこのマシンの IP アドレスとサブネットマスクをネットワーク管理者に確認してください。

---

<sup>†4</sup> IP アドレスは一意に決めるものですので、ユーザは勝手に IP アドレスをふらないでください。

## WINS 設定

WINS は WindowsNT のネットワークで使用される プロトコルです。WINS の解決をする場合、WindowsNT の WINS Server が必要です。また、解決するのに DHCP を使用することも出来ます。

「WINS 設定」タブをクリックします。

ここでは WINS(Windows Internet Naming Service) の解決を使用するか、しないかを設定します。

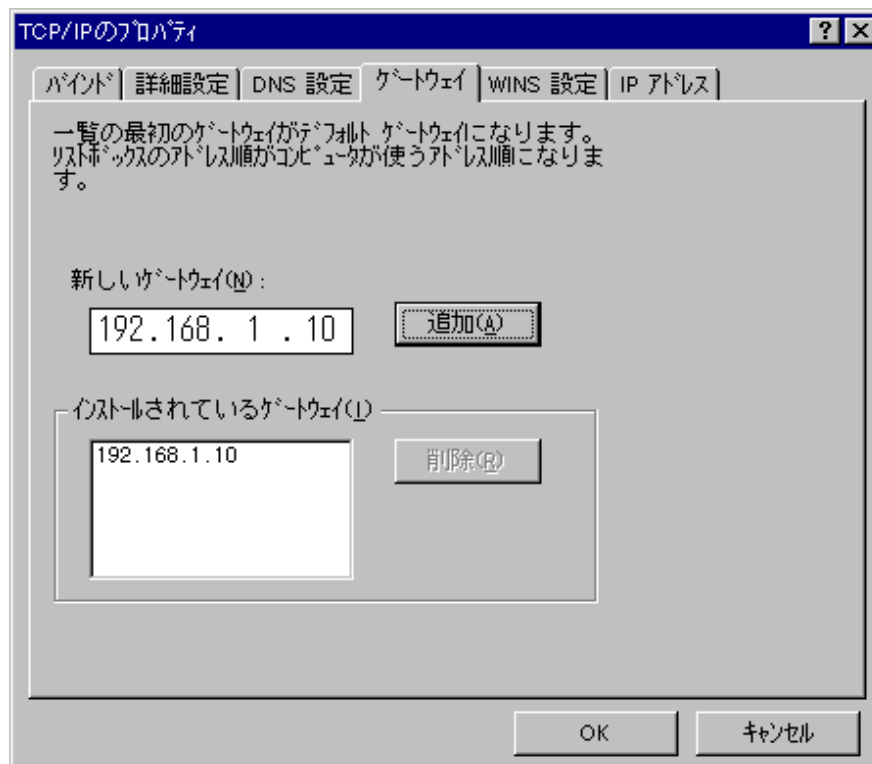


## ゲートウェイ

ゲートウェイとは通常そのネットワークのルータを指します。

「ゲートウェイ」タブをクリックします。

ここではゲートウェイアドレスを設定します。



ルータを越える通信を行いたい場合にはルータのアドレスを IP アドレスで指定し、追加してください。「新しいゲートウェイ」にゲートウェイアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。

ゲートウェイ設定は、ネットワーク環境によっては必要ありません。ネットワーク管理者にご相談ください。



## DNS 設定

「DNS 設定」タブをクリックします。

ここでは DNS(Domain Name Service) に関する設定をします。



DNS を使用しない場合は「DNS を使わない」をチェックしてください。その場合 hosts ファイルが使用されます。使用する場合は「DNS を使う」をチェックし、次の項目について設定します。

### ホスト

ドメインネームサーバーに登録されている、このパソコンのホスト名を入力します。

### ドメイン

ドメインネームサーバーに登録されている、このパソコンのドメイン名を入力します。

### DNS サーバーの検索順

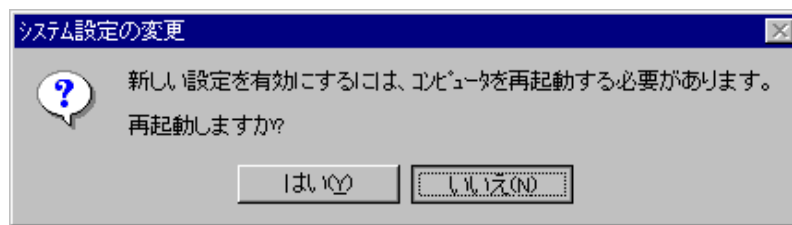
ドメインネームサーバーの IP アドレスを入力し、「追加」をクリックします。ドメインネームサーバーを複数使用したい場合は、使用する頻度の多いサーバー順に入力し、「追加」ボタンで登録します。

### ドメインサフィックスの検索順

ネットワーク環境において、サブドメインを使用している場合や、頻繁にアクセスするドメイン名を登録します。登録はドメイン名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

各設定値について不明な点は、ネットワーク管理者にご相談ください。

8. TCP/IP の設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックして TCP/IP プロパティを終了します。
9. インストールが終了すると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックし、リブートさせます。



10. 再起動したら、TCP/IP が正しく動作しているか、動作確認を行ってください。

DNS を使用しない場合は後で Windows95 インストールディレクトリに hosts ファイルを作成してください。

## 5. TCP/IPの動作確認

AT-TCP/32 のアプリケーションを使用するためには、Windows95 の TCP/IP が正しく動作していなければなりません。TCP/IP の動作は、Windows95 に含まれている ping コマンドによって確認できます。

1. 「スタート」 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」を実行してください。
2. MS-DOS プロンプトウィンドウで ping を実行します。ping の後には、引数としてホスト名または IP アドレスを指定してください。

<書式>

`ping hostname`

`ping IP-address`

<コマンド例>

```
C:¥>ping kiwi.abcdefg.co.jp
```

```
C:¥>ping 150.87.24.1
```

3. 下の例のように、リモートホストからの応答時間が表示されれば正しく動作しています。下の例のように表示されず、エラーメッセージが表示される場合は、Windows95 の TCP/IP 設定が間違っている可能性があります。Windows95 のマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。

<pingの正しい表示例>

```
Pinging hostname.domain_name [128.13.14.15] with 32 bytes of data:
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=2ms TTL=254
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=2ms TTL=254
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=1ms TTL=254
```

```
Reply from 150.87.21.8: bytes=32 time=2ms TTL=254
```

## 6. インストールの実行

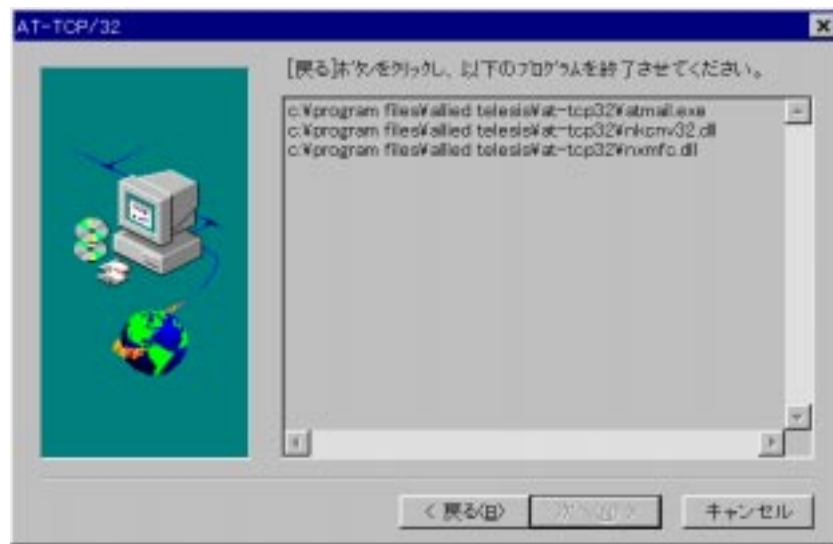
### 6.1 AT-TCP/32 TCP/IP applications

この節では、AT-TCP/32 TCP/IP applications のインストール手順を説明します。

ここでは、インストール対象のパソコンとして DOS/V、起動ドライブを C:、CD ドライブを D:、フロッピードライブを A: と仮定し、Windows95 上でインストールすると仮定して説明します。PC98 シリーズの場合は、C: を A:、A: を B: に読みかえてください。

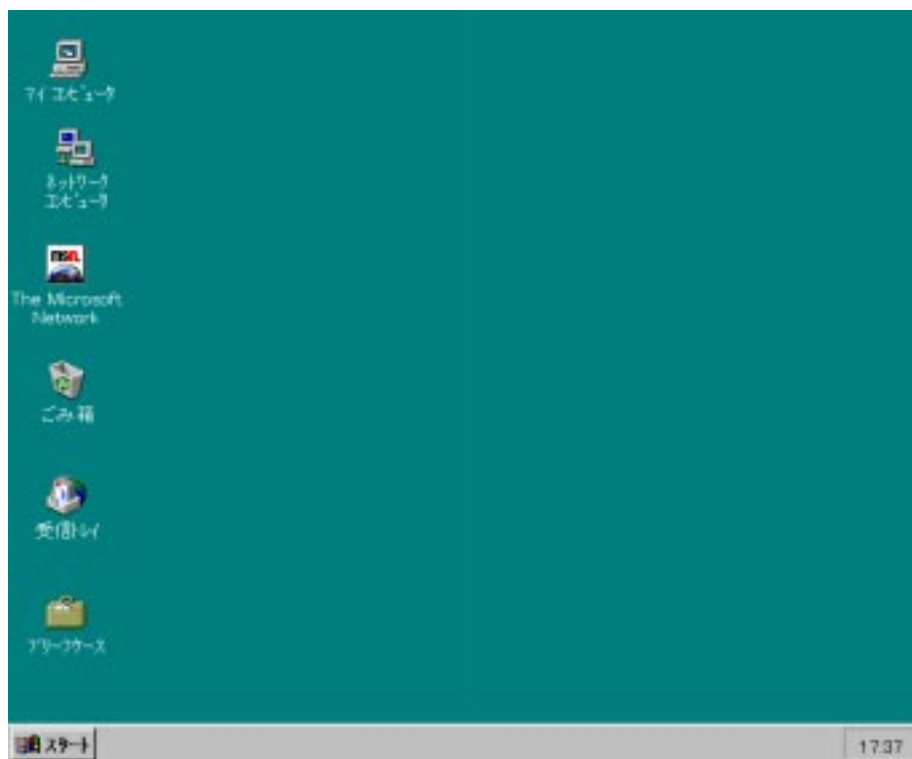
注意：

古い AT-TCP/32 applications をインストールしているお客様で、何かアプリケーションを起動している場合は以下のダイアログが表示されます。必ず、アプリケーションは終了させてからインストールを行ってください。

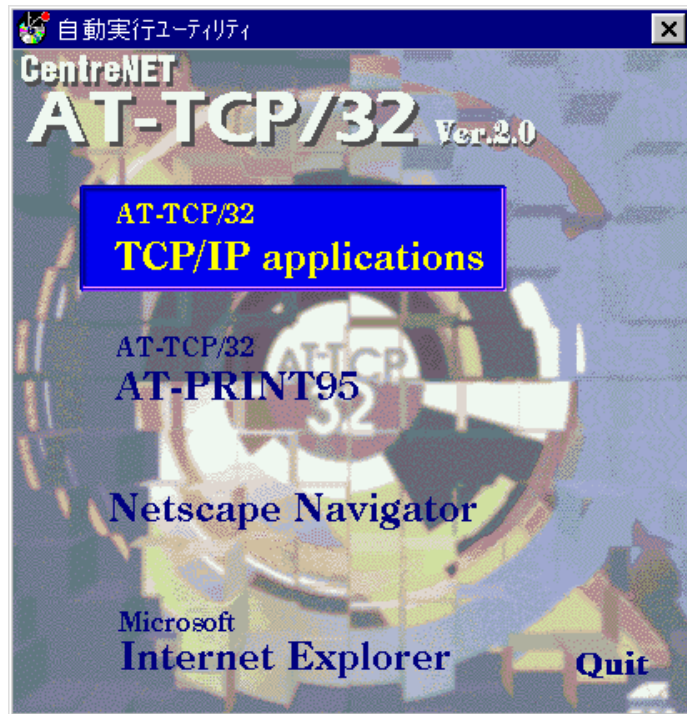


## 新規インストール

1. 周辺機器やパソコン本体の電源を入れてください。Windows 95 が起動されます。



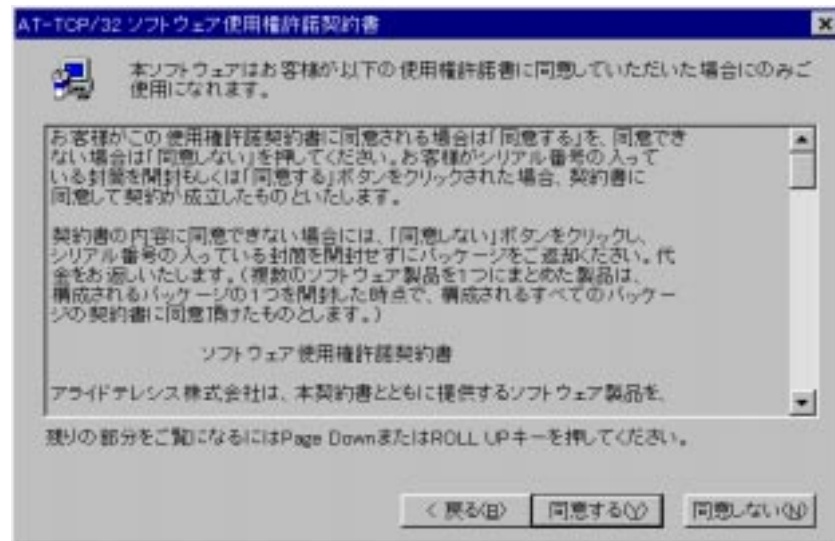
- CentreNET AT-TCP/32 の供給メディアの CD-ROM を CD ドライブ D: に入れてください。カレントドライブを「D:」、インストール先ドライブを「C:」と仮定します。  
CD-ROM を CD ドライブ に入れると以下の「自動実行ユーティリティ」ダイアログが表示されます。「AT-TCP/32 TCP/IP applications」をクリックします。



- インストールを開始する画面が表示されます。「次へ>」ボタンをクリックします。TCP/IP の設定を行っていないと警告メッセージが表示されます。必ず TCP/IP の設定を行ってからインストールしてください。



4. 「AT-TCP/32 ソフトウェア使用権許諾契約書」ダイアログが表示されます。よくお読みになって同意するのなら「同意する」ボタンをクリックします。同意しないのなら「同意しない」ボタンをクリックしますが、その場合、セットアップは中止となります。



5. 「シリアル/認証番号」ダイアログが表示されます。シリアル番号と認証キーを入力して、「次へ>」ボタンをクリックします。シリアル番号と認証キーはAT-TCP/32 パッケージの中にシールとして添付されている「1234-5678-9012」のような番号です。認証シールとシリアル番号は対になっており、シリアル番号が正しいことを証明する「鍵」です。認証番号もシリアル番号と同様の形式となっており、シリアル番号のシールに併記されています。



6. セットアップするタイプを選択します。AT-TCP/32 の TCP/IP アプリケーション全てをインストールする場合は「フルインストール」ボタンを、必要なアプリケーションだけをインストールする場合は「カスタムインストール」ボタンをクリックしてください。



7. 「カスタムインストール」ボタンをクリックした場合は、以下のダイアログが表示されます。TCP/IP アプリケーションの一覧から必要なアプリケーションを選択します。選択したアプリケーションは、インストール先ディレクトリに表示されているディレクトリにインストールされますが、このディレクトリでよければ「次へ>」ボタンをクリックします。他のディレクトリにインストールする場合は「参照」ボタンをクリックして選択してください。設定が終了したら「次へ」ボタンをクリックします。





8. 「フルインストール」ボタンをクリックした場合は、手順 8.へ進みます。「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。インストール先ディレクトリに表示されているディレクトリにインストールされます。このディレクトリでよければ「次へ>」ボタンをクリックします。  
他のディレクトリにインストールする場合は「参照」ボタンをクリックして選択してください。



9. 「デスクトップへの組み込み」ダイアログ<sup>†5</sup>が表示されます。ここではデスクトップへの組み込み方法を指定します。デフォルトは「サブメニューを作成する」です。指定したら「次へ>」ボタンをクリックします。

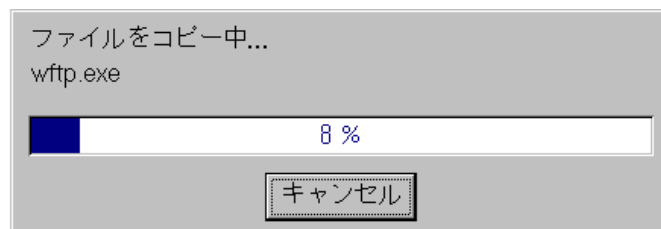


†5 このダイアログは Windows NT へインストールする場合は表示されません。

11. 「プログラムフォルダーの選択」ダイアログが表示されます。ここではどこのプログラムフォルダーにプログラムアイコンを追加するか指定をし、「次へ>」ボタンをクリックします。Windows NT の場合、プログラムフォルダーはグループに置き換えてください。



12. ファイルのコピーを始めます。



13. ファイルのコピーが終了すると「インストール完了」ダイアログが表示されます。また、このダイアログで「README ファイルを表示する」と「アプリケーションの設定を変更する」を選択することができます。デフォルトは「README ファイルを表示する」です。この項目を選択すると、インストール終了後に README ファイルを表示します。

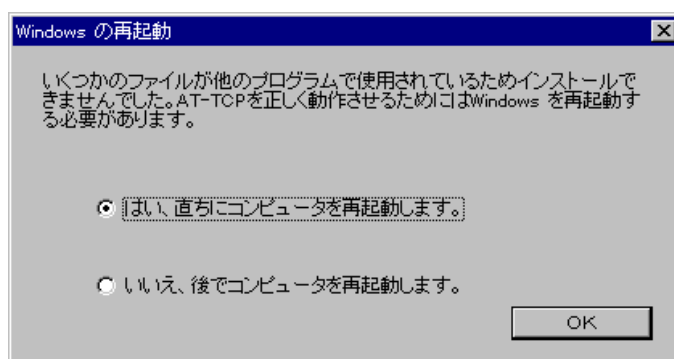


14. CentreNET AT-TCP/32 について製品情報が表示されます。

15. 「自動実行ユーティリティ」ダイアログは「Quit」ボタンをクリックして終了させます。



16. インストールが終了すると、Windows 95 の画面に戻ります。ただし、インストール中に別のプログラムを動作している場合は、以下のメッセージが表示されます。



\* ATMail で「PGP 暗号化機能」を利用したい方は、「PGP 国際版 2.6.3i」を入手する必要があります。詳細は P48 を参照ください。

## Version Up の場合

1. 新規インストールの手順 1. ~ 4. を行います。古い AT-TCP/32 がインストールしてある場合は、以下のダイアログが表示されます。ここでインストール方法を選択します。古い AT-TCP/32 の各アプリケーションの設定をそのまま残してインストールする場合は「A:」を、古いバージョンは設定を含めて全て削除してインストールする場合は「B:」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。



2. 「A」を選択した場合はインストール先の確認をするダイアログが表示されます。表示されているディレクトリやフォルダは古い AT-TCP/32 のインストール先です。「はい」ボタンをクリックします。違うディレクトリやフォルダにインストールしたい場合は古い AT-TCP/32 を予めアンインストールしてからでないと、インストールができません。

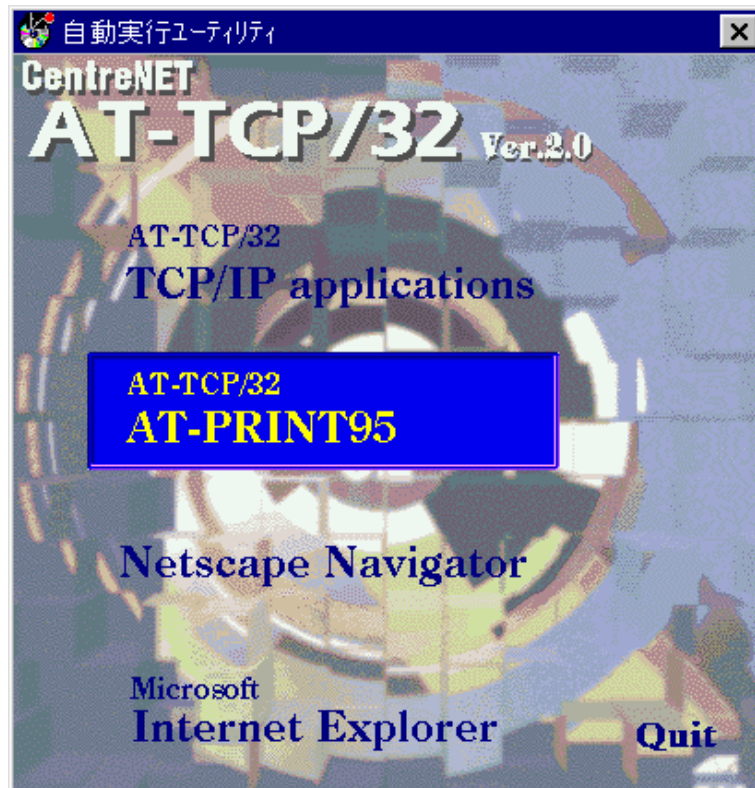


3. あとは新規インストールの手順 5.以降の手順に従ってインストールしてください。

## 6.2 AT-PRINT95 のインストール

LAN において、AT-PRINT95 をパソコンにインストールし、リモートホスト (UNIXワークステーション) と通信ができるようになるまでの作業の概要は以下の通りです。

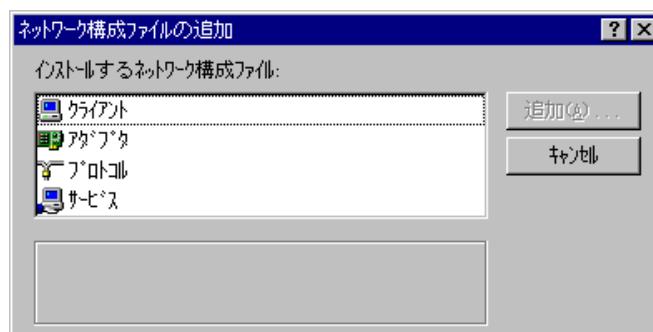
1. 「自動実行ユーティリティ」を起動させ、「AT-TCP/32 AT-PRINT95」ボタンをクリックします。



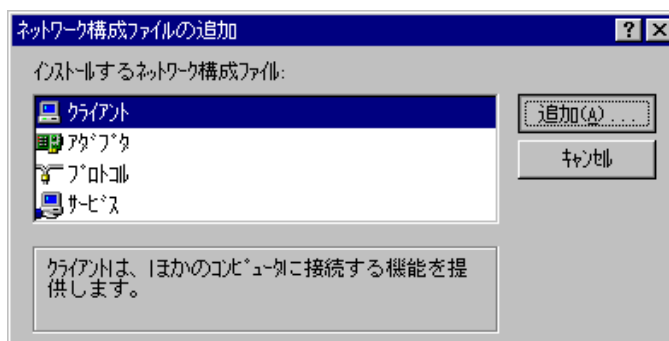
2. プリンタリダイレクト機能のインストールについての簡単な文書と「ネットワーク」ダイアログが表示されます。この冊子とあわせてお読みください。「ネットワーク」ダイアログは「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」でも表示させることができます。



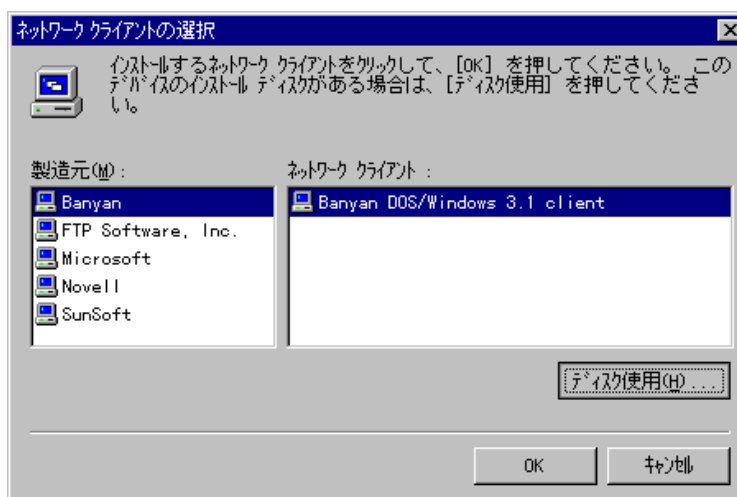
2. 「ネットワーク」ダイアログの「追加」ボタンをクリックすると、「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログが表示されます。



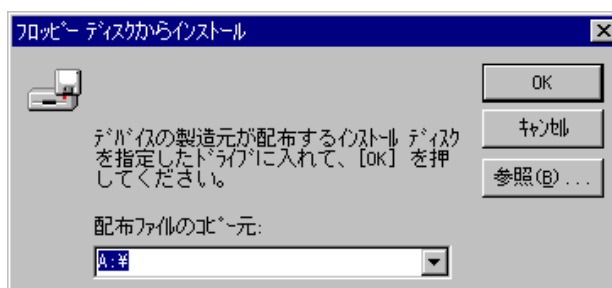
3. ダイアログ中の「インストールするネットワーク構成ファイル」一覧から「クライアント」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



4. 「ネットワーククライアントの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用」ボタンをクリックします。

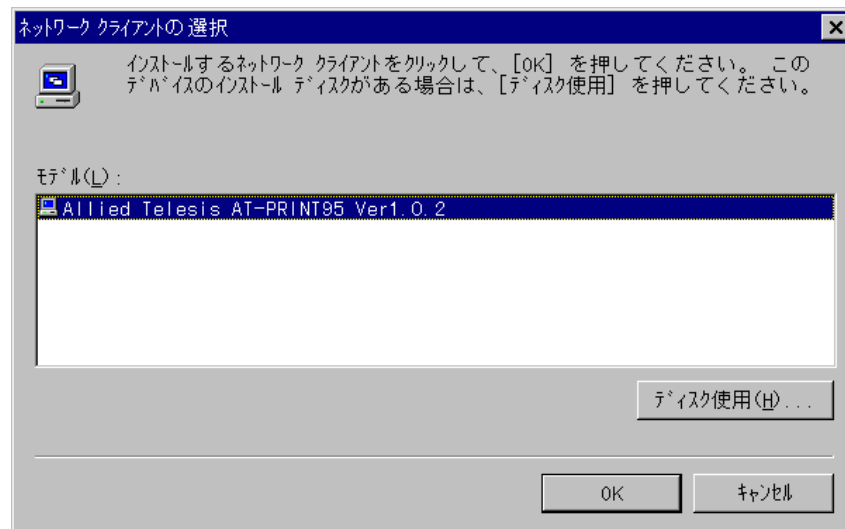


5. 「フロッピーディスクからのインストール」ダイアログが表示されます。AT-PRINT95のCD-ROMをドライブに挿入し、「配布ファイルのコピー元」にそのドライブを入力します。用意ができたなら「OK」ボタンをクリックします。

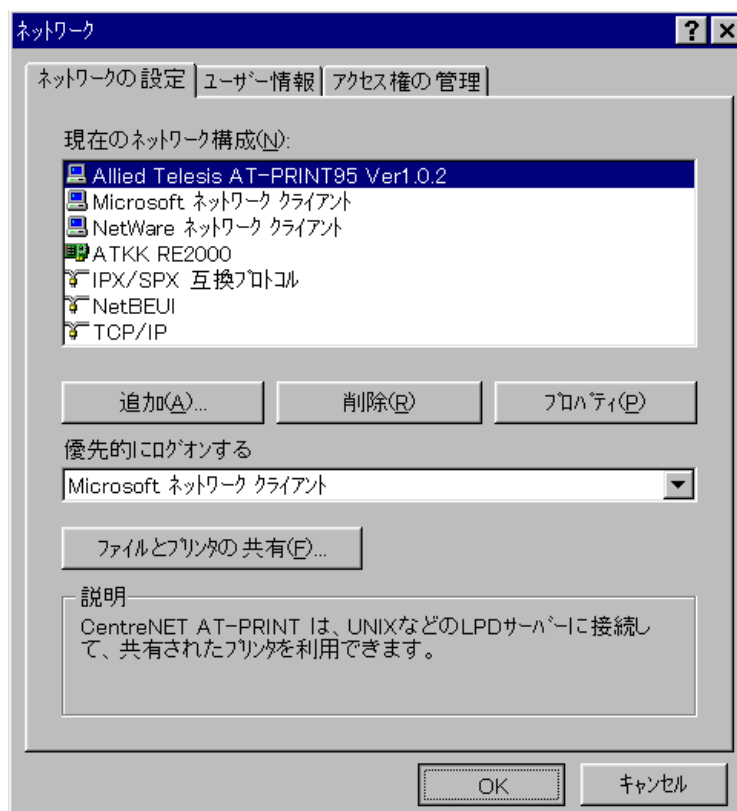




6. 「ネットワーククライアントの選択」ダイアログが表示されます。ダイアログ中の「モデル」一覧に「Allied Telesis AT-PRINT95 Ver1.0.1」と表示されます。確認後「OK」ボタンをクリックします。



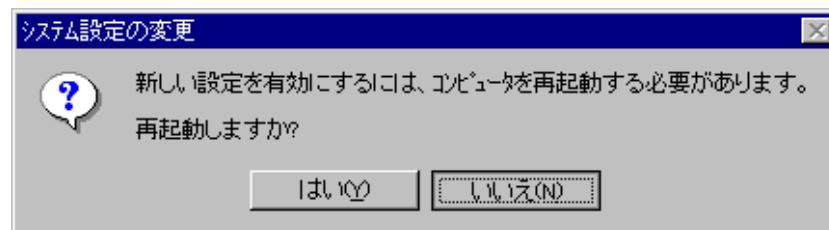
7. 「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「現在のネットワーク構成」一覧に「Allied Telesis AT-PRINT95 Ver1.0.1」が追加されます。インストールを開始する場合は「Allied Telesis AT-PRINT95 Ver1.0.1」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。インストールを始めます。



8. Windows95 をインストールした時の CD-ROM や FD を要求されます。



9. インストールが終了すると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されます。全てをインストールしてからリブートします。「いいえ」ボタンをクリックします。



## 7. AT-PRINT95 を使用するための TCP/IP の設定

TCP/IP の設定には、次のネットワーク環境について決めておく必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

- 1) DHCP サーバーを使用するか？
- 2) WINS を解決するか？（NetBIOS を使用し、ルータ越えや他の NetBIOS ネットワークとの接続を行うか？）
- 3) DNS を使用するか？

ここでは、次のネットワーク条件を前提に設定例を示します。

- 1) DHCP サーバーは、使用しない。
- 2) WINS の解決をしない。
- 3) DNS を使用する。

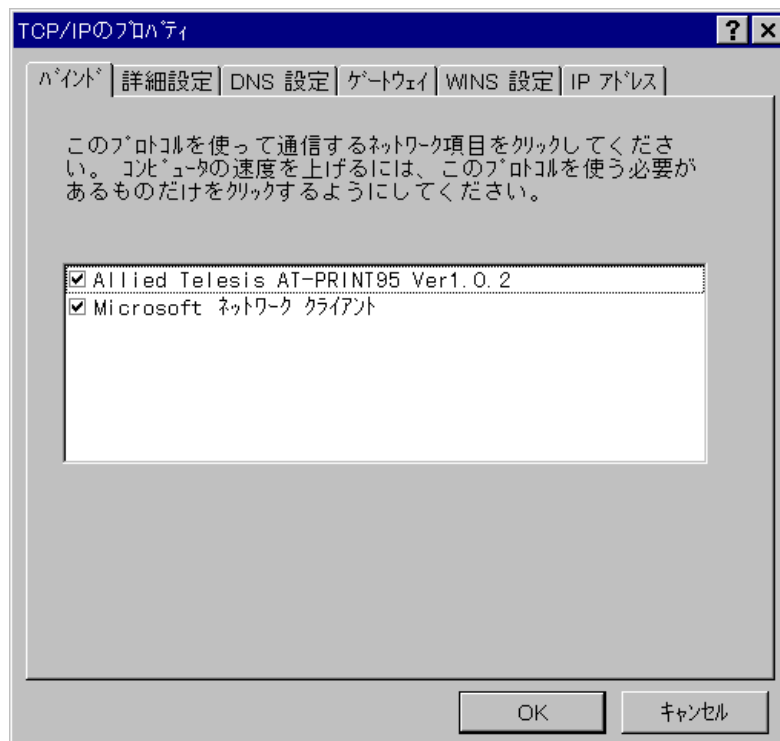
TCP/IP の設定は Windows95 の「ネットワーク」ダイアログの「ネットワークの設定」プロパティで行います。

1. 「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をダブルクリックします。
2. 「ネットワークの設定」タブをクリックします。「現在のネットワーク構成」一覧から TCP/IP を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。



## バインド状態の確認

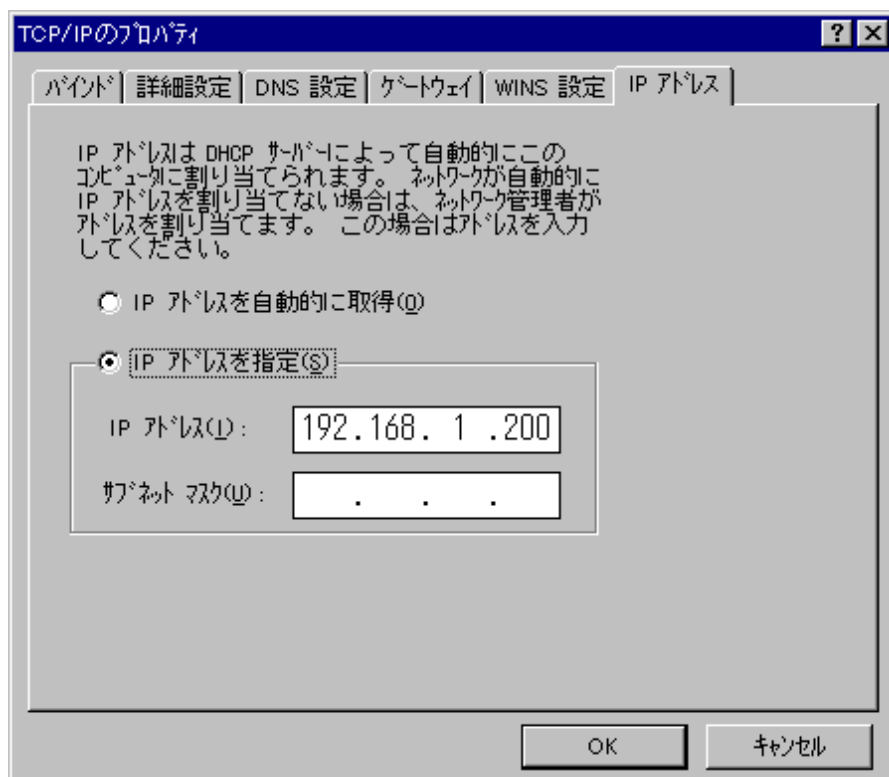
「バインド」タブをクリックします。



上記のように AT-PRINT95 が表示され、先頭のチェックボックスにチェックがしてあるか確認します。AT-PRINT95 が表示されていないか、チェックボックスにチェックがされていない場合は再起動してから、もう一度「TCP/IP の設定」から始めてください。再起動しても AT-PRINT95 が表示されなかったり、チェックボックスにチェックがされていない場合は正しくインストールされていません。その場合は再インストールをしてください。

## IP アドレスの設定

「IP アドレス」タブをクリックします。



ここでは DHCP サーバーは使用しない設定にしますので、「IP アドレスを指定」をチェックし、「IP アドレス」と「サブネットマスク」フィールドに各アドレスを入力します。ここでは、例として

IP アドレス            192.168.1.200  
サブネットマスク    255.255.000

で設定します。

WINS (Windows Internet Naming Service) 設定  
「WINS 設定」タブをクリックします。



ここでは WINS の解決を使用しないという設定にしますので「WINS の解決をしない」をチェックします。

## DNS 設定

「DNS 設定」タブをクリックします。



ここでは DNS を使うという設定にしますので、「DNS を使う」をチェックし、「ホスト名」、「ドメイン名」、「DNS サーバーの検索順」、「ドメインサフィックスの検索順」フィールドに各アドレスを入力します。ここでは例として以下のように入力します。ただし、ここではサブドメインの使用はしないので入力はしません。

ホスト	nakaido
ドメイン	allied-telesis
DNS サーバー	192.168.1.1

各設定値について不明な点は、ネットワーク管理者にご相談ください。

3. 以上の設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックして TCP/IP プロパティを終了します。



4. 「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「OK」ボタンをクリックすると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」というメッセージが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして再起動してください。
5. DNS を使用しない場合は後で Windows95 インストールディレクトリに hosts ファイルを作成する必要があります。詳細は本製品マニュアル「User's Manual」の「付録 A TCP/IP の基礎概念 A.2 hosts ファイル」をお読みください。
6. TCP/IP の設定をした後は、TCP/IP が正しく動作しているか、動作確認を行うことをお奨めします。動作確認の方法は「5. TCP/IP の動作確認」の手順にしたがってください。

## 8. CentreNET AT-PRINT95 ご使用上の注意

本製品を使用する際、以下のことにご注意ください。

1. AT-PRINT95は LPRプロトコルによるプリンタリダイレクト機能を提供しています。リモートプリンタとしてLPDサーバー、LPDサーバー対応ネットワークプリンタが使用できます。  
NFSプリンタは対応していません。
2. Windows95「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSのプリンタリダイレクト機能を使用する場合は、リダイレクト先としてUNC名は使用できません。

使用できる例：  
`copy file LPT1`  
`dir > LPT1`

使用できない例：  
`copy file ••kiwi•lp`

## 9. アンインストール

CentreNET AT-TCP/32 をインストール先のハードディスクから削除する場合は、以下の手順で行ってください。

### 9.1 AT-TCP/32 のアンインストール

Windows95/WindowsNT 4.0 をお使いの場合

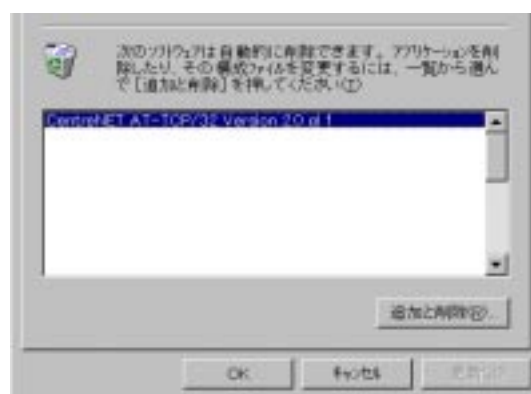
1. Windows95/WindowsNT 4.0 を起動します。
2. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「コントロールパネル」グループが表示されます。その中から、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。



4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログが表示されます。



5. ダイアログの下のウィンドウから「CentreNET AT-TCP/32 Version 2.0 pl0」をマウスで指定し、「追加と削除」ボタンをクリックします。



6. AT-TCP/32 関係のファイル及び設定が Windows95 または WindowsNT 4.0 から削除されます。

WindowsNT 3.51 をお使いの場合

1. WindowsNT 3.51を起動します。
2. プログラムマネージャ以外の全てのアプリケーションを終了させます。
3. プログラムマネージャの「CentreNET AT-TCP32」グループの中の「アンインストール」アイコンをダブルクリックします。



4. AT-TCP/32 関係のファイル及び設定が Windows NT 3.51 上から削除されます。システムを再起動することによりアンインストール処理は終了します。

## 9.2 AT-PRINT95 のアンインストール

1. AT-PRINT95 の機能を使用している全てのウィンドウを閉じます。  
(例. ネットワークコンピュータやネットワークディスクをカレントドライブにしている MS-DOS プロンプトなど割当てている仮想ドライブを切断します。)
2. AT-PRINT95 の機能を使用して登録したネットワークプリンタを削除します。

3. 「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をクリックし、「ネットワーク」ダイアログを表示させます。



4. このダイアログの「現在のネットワーク構成」一覧で AT-PRINT95 を選択して「削除」をクリックしてください。



5. メッセージにしたがって、必ず再起動してください。

ハングアップなどの異常が発生した場合のアンインストール方法  
(以下の操作はハングアップ等の異常時以外には行わないでください。)

1. パソコンの電源投入後、「F8」キーを押します。
2. 起動メニューが表示されるので、そのメニューの中から「セーフティモード」を選択して Windows95 を起動します。
3. Windows95 を起動した後、「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」をクリックし、「ネットワーク」ダイアログを表示させます。
4. ここで、「現在のネットワーク一覧」に表示されている各アイテムを全て削除し、Windows95 を再起動してください。
5. 再起動後、DOS プロンプトを起動して Windows95 がインストールしてあるディレクトリの下に SYSTEM ディレクトリにある vatnfs.386 を削除します。

```
C:¥windows¥system>del vatnfs.386
```

6. DOS プロンプトを閉じます。
7. AT-PRINT95 以外のネットワーク機能を再度設定してください。

## 10. 「PGP 国際版 2.6.3i」について

AT-TCP/32 TCP/IP アプリケーションの AT-Mail ではメッセージを暗号化し、メールとして送信することができます。そのためには「PGP 国際版 2.6.3i」というソフトウェアが必要になります。PGP のホームページからダウンロードしてください。「PGP のダウンロードについて」をお読みください。

### PGP のバージョン

現在(1997.1)の時点で、以下のバージョンのアーカイブが ATMail との組み合わせで動作することが確認されています。

pgp263i.zip	299KB (DOS/V 用。PC98 では動作しません。)
pgp263ix.zip	379KB (DOS/V 用。PC98 では動作しません。)
pgp263i-win32.zip	322KB (PC98 シリーズはこのバージョン以外は動作しません。)

ATMail で使用する場合は pgp263i-win32.zipをお勧めします。

### PGP の注意事項

「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロード、使用、その他の一切については、個人もしくは各会社、各団体の判断と責任において行ってください。

「PGP 国際版 2.6.3i」の商品利用、輸出 / 輸入、国外への持ち出し / 国外からの持ち込み、その他に関して制限事項等がもうけられておりますので、十分ご調査ご確認の上、事故の判断と責任においてご利用ください。

( PGP 国際版のホームページ (日本語版) <<http://ac3.aimcom.co.jp/macpgp/>> の「PGP 国際版に関する FAQ」などをご参照ください。 )

弊社はこれら「PGP 国際版 2.6.3i」の取り扱いの全てについて一切の責任を追いかねますのであらかじめご了承ください。



## 「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロードについて

弊社ホームページに「PGP 国際版 2.6.3i」の入手に関する情報が掲載されていますので、下記の URL をご利用ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/products/pgp.html>

「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロードの詳細については、PGP ホームページをご覧ください。

## 「PGP 国際版 2.6.3i」のインストール

ダウンロードしてきた「PGP 国際版 2.6.3i」は ZIP 形式で圧縮されています。解凍するには WinZip というシェアウェアの PC 用の解凍ユーティリティを購入する必要があります。

ハードディスク上の適切なディレクトリの中で解凍することでインストールは終了です。（弊社は WinZip の取り扱いの全てについて一切の責任を追いかねますので予めご了承ください。また、WinZip の使用、「PGP 国際版 2.6.3i」の解凍に関するご質問は受けかねますので、お客様の責任にて行っていただけますようお願い申し上げます。）ただし、解凍時にディレクトリを指定しないとルート上で展開されますので、PGP 専用のディレクトリを作成して解凍することをお勧めします。

例 C:\PGP

## PGP とは

PGP は Philip Zimmerman 氏によって開発された公開鍵方式の暗号化プログラムです。PGP を使用することによって、電子メールやコンピュータ上に格納されたファイルを暗号化し、それらのプライバシーを保護することができます。日本では国際版 PGP（「PGP 国際版 2.6.3i」）のみご利用できません。

## 暗号化と復号化

誰かがその情報を抜き取って読もうとしても解読できないように、元の情報（平文といいます。）を見た目には無秩序な形に置き換えることを「暗号化」といい、置き換えられた文章を「暗号文」といいます。

暗号文は鍵を使用することにより、ある特定の人にしか解読できません。解読することを「復号化」といいます。

暗号化の目的には以下のことがあげられます。

#### 機密保持

非常に独占的なビジネス情報の保護に関しては機密性が重要な要素となります。暗号化された情報に不正にアクセスしたりしても、解読することはきわめて困難になります。

#### 情報の正確性や保全性を維持

内容の正確さを重要視される情報を改ざんされるのを防ぎます。

#### 信憑性

電子署名 / 認証は送信されてきた情報が本物であることを確認する手段でもあります。

### 公開鍵方式

PGP は公開鍵方式といって、公開鍵と秘密鍵の 2 種類の鍵を使用する方法を採用しています。暗号化と復号化のためには、この 2 種類の鍵が必要になります。

この鍵は一組になっており、1 つは所属しているグループ（例えばネットワークのような）に公開され、1 つは各ユーザーが他人に知られないように各自で保護しなければなりません。

公開される鍵を公開鍵、他人に知られないように保護しなければならないのが秘密鍵または、プライベート鍵といえます。

#### 公開鍵

メッセージを暗号化するときに使います。暗号化するときは、メッセージを送信する相手の公開鍵を使います。また、ユーザ認証する際にも使用されます。また、電子署名をするときにも使用されます。

#### 秘密鍵

メッセージを復号化するときに使います。復号化するときは自分の秘密鍵を使います。

秘密鍵を使うためには「パスフレーズ」が必要になります。パスフレーズは秘密鍵を保護するためのパスワードのようなものです。

#### 電子署名

そのメッセージが本人からのものであることを証明するデータのことです。暗号化する平文をある関数を使用して、ほぼ一意になる特定の値に変換し、さらに秘密鍵で暗号化します。この電子署名は、暗号文を復号化したときに、元の暗号化されたメッセージと、電子署名の特定の値に変換したデータを比

較し、改ざんされているかどうか検証します。

### 公開鍵と秘密鍵の作成

ATMail で暗号化の機能を使用するには公開鍵と秘密鍵が作成が必要になります。鍵の作成は ATMail 上で作成することができますので、MS-DOS 上で PGP のコマンドを使用して作成する必要はありません。公開鍵と秘密鍵の作成については AT-TCP/32 Ver2.0 の User's Manual をお読みください。

## ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1996-1997 アライドテレシス株式会社

## 商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の商標です。

イーサネット(ethernet) はXerox社の商標です。

UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Microsoftは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MS-DOSは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

WindowsNT は米国Microsoft Corporationの登録商標です。

PC-9800は日本電気株式会社の商標です。

Netscape、Netscape Navigator はNetscape Communications Corporation の商標です。

URL.DLLとRNAPH.DLLの著作権は、米国Microsoft Corporationにあります。

この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。